

平成26年度第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会議事録

開催日時：平成26年 4月 29日（火）12：00～15：00

開催場所：九州歯科大学病院棟11階大会議室

出席者：牧 憲司、奥 猛志、尾崎正雄、野中和明、藤原 卓、山崎要一、西垣奏一郎、馬場篤子、星野倫範、佐藤秀夫、石井 香、柏木伸一郎、田中克明、行成哲弘、京極絵美、木舩敏郎、重田浩樹、空田安博、大倉秀一郎、石谷徳人、佐伯 桂、久芳陽一、入江英仁、西田郁子

欠席者：井上浩一郎、橋本敏昭、竹島 勇、品川光春

(敬称略)

平成26年2月にご逝去された福岡歯科大学 名誉教授 吉田 譲先生に哀悼の意を表し、黙祷が捧げられた。

1、開会の辞

奥副会長より開会の辞が述べられた。

2、会長挨拶

牧会長より会長挨拶が述べられた。

3、報告事項

1) 平成26、27年度役員紹介

牧会長より資料1を参考に平成26、27年度日本小児歯科学会九州地方会役員が紹介された。

2) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会準備状況について

資料2を参考に西田準備委員長より準備状況について報告された。

3) 日本小児歯科学会九州地方会HP

奥副会長より日本小児歯科学会九州地方会ホームページについて説明が行われた。

4) 宮崎小児歯科臨床談話会 第2回オープンセミナー報告

資料3を参考に欠席された井上先生の代理で牧会長、講演者の尾崎先生より報告された。参加者は、歯科医師63名、歯科衛生士・その他76名であった。

5) 日本小児歯科学会九州地方会 学術講演会について

平成25年12月8日（日）熊本県歯科医師会会館にて開催された日本小児歯科学会九州地方会学術講演会について、入江監事より報告された。

講演1「う蝕病因論の再考とその臨床での活用」長崎大学歯学部小児歯科分野 藤原 卓教授

講演2「小児期の歯内療法と外傷歯への対応」九州歯科大学口腔機能発達学分野 牧 憲司教授

参加者は、73名であった。

6) その他

(1) 藤原先生より、学術委員会主催の一般公開講座を平成26年2月11日（祝）に熊本県歯科医師会館にて開催されたことが報告が行われた。

(2) 第9回アジア小児歯科学会（8/22-24 シンガポール開催）の抄録締め切りが、5月31日に延長された報告があった。2年後のアジア小児歯科学会は、東京歯科大学 新谷先生が大会長として開催されることが報告された。

(3) 山崎先生より、日本小児歯科学会 フィリピン台風災害支援に寄付して頂いたことへのお礼が述べられた。

(4) 山崎先生が次期日本小児歯科学会理事長に再任が決定したことの報告があった。

(5) 広報委員会奥先生より、海外の小児歯科の先生の紹介を JSPD のホームページに掲載していることが報告された。

(6) 雑誌等での広告に関して学会として掲載ルールを規定しているので、理事会報告を確認してほしいとの報告があった。

2、議長選出

牧会長の推薦により行成哲弘先生が選出された。

3、審議事項

1) 平成25年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告(資料4)

資料4の収入の項の記載の訂正があった。30回→31回

2) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計報告(資料5)

前年度岡会計幹事より上記2つの会計報告が行われた。

3) 1) および2) に対する会計監査報告

入江監事より適正に処理されていることが報告され、上記2つについて承認させた。

4) 平成26年度九州地方会事業計画書

牧会長が、資料6を参考に、九州地方会事業及び予算に関する検討委員会および九州地方会事業計画について説明し、承認された。

木船先生より会員関係に関して、①小児患者の紹介マップの作成②小児歯科標榜医院の実態調査について提案があった。②に関して、山崎先生より標榜医制度は厚生労働省による制度なので、学会として標榜医をターゲットに事業を起こすことは困難である。本会としては、標榜医の方が入会したくなるような制度設計を考え、専門性を高め、協力体制を整えるようにしていきたいとの説明があった。

5) 佐賀県学校歯科保健研修会講師派遣について

田中先生より、資料7を参考に佐賀県学校歯科保健研修会について説明され、尾崎正雄教授の講師派遣依頼および九州地方会の共催依頼があり、承認された。

山崎先生より九州地方会が主体として承認できるものは進めて頂きたい。藤原先生より専門医のポイント習得のために、九州地方会共催が必要条件であり、承認後は専門医委員会に申請すること、ICカードリーダーの貸し出しが必要であることの説明があった。

県外への広報の方法について、昨年度事務局の馬場先生より九州地方会会員にはハガキにて周知を行った報告がされ、本年度も同様に実施するようになった。重田先生より講演内容について確認があり、尾崎先生より打合せ中である旨説明があった。専門医申請には講演内容が必要であることが藤原先生より説明があった。

6) 平成26年度九州地方会予算案

佐伯先生より、資料8を参考に平成26年度の予算案が説明され、承認された。

野中先生より事業費の確認および通信費について質問があったが、昨年度は30周年記念誌郵送、県代表幹事選出のため通信費がかかったが、本年度は前々年度の予算を参考にした事の説明があった。

山崎先生より本年度はホームページ作成のため予備費が急激に減少しており、今後毎年10万円ほどの維持費がかかることに関するコメントがあった。

7) 第33回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開催について

西垣先生より準備状況について報告され、承認された。

日時：平成27年11月15日(日)

場所：福岡市内で検討中

テーマ：「小児歯科における医療連携」

大会長：柳田憲一先生

大会長補佐：野中和明先生

準備委員長：西垣奏一郎先生

詳細については、次回役員会にて報告予定である。

8) 第34回日本小児歯科学会九州地方会及び総会の開催について

山崎先生より第34回日本小児歯科学会大会および総会は鹿児島大学が担当し、同門会と相談して準備を進める予定であることが説明され、承認された。

9) ニュースレターへの発刊について

大倉先生より、資料9を参考に、ニュースレターの項目および担当について確認され、承認された。

14の小児歯科学会専門医セミナー開催案内は、尾崎先生から久芳先生へ変更、ホームページの説明について追加し、担当は奥先生にお願いすることとなった。

10) その他

①4月に保険点数改正について

奥先生、山崎先生より今後、新たな保険点数を獲得するためにはエビデンスが必要であり、調査研究の依頼があった際の協力依頼があった。

木船先生より保険装置について質問があった。山崎先生より厚生労働省の決定事項のため運用に際しては理想的なものではない。引き続き要望して行く予定であるが、保険装置に関しては、できるだけやってみてほしいとの説明があった。

②学会会員獲得について

奥先生より標榜医に向けた教育講演を企画してほしいこと、一般開業医へのアピール方法について検討してほしいとの提案があった。

山崎先生、藤原先生より、講演会、地方会会場に入会案内の窓口ブースの設置について提案あった。

③尾崎先生より平成26年11月2日に福岡歯科大学主催、尾崎正雄先生大会長による第4回日本外傷歯科学会西日本地方会開催のお知らせがあった。

6、総評

入江先生より入会の促進案を有効に生かして会員増員に努めてほしいこと、ホームページを九州地方会会員にとって有効な情報の掲載、内容の充実をお願いしたいと述べられた。

久芳先生より、新しく幹事の先生方には、日本小児歯科学会九州地方会会則や九州地方会事業及び改正に関する答申書を確認してもらい、地方会が活性化するように考えて頂きたい。ホームページを有効に使用して、情報を発信して頂きたいと述べられた。

7、閉会の辞

尾崎副会長より閉会の辞が述べられた。